

5 キャッシュ・フロー計算書について

本市下水道事業のキャッシュ・フロー計算書の状況は、次のとおりである。(単位:千円)

	平成28年度	平成27年度	増減額
1 業務活動によるキャッシュ・フロー			
当年度純利益	338,712	312,419	26,293
減価償却費	3,344,614	3,486,613	△141,999
退職給付引当金の増減額(△は減少)	25,673	14,584	11,089
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,572	844	1,728
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△468	△1,981	1,513
長期前受金戻入額	△1,390,964	△1,433,220	42,256
受取利息及び配当金	0	△27	27
支払利息及び企業債取扱諸費	1,045,237	1,123,190	△77,953
固定資産除却損	113,390	20,063	93,327
固定資産売却損	53	0	53
未収金の増減額(△は減少)	△56,678	△25,028	△31,650
未払金の増減額(△は減少)	43,669	57,677	△14,008
預り金の増減額(△は減少)	△5,932	6,681	△12,613
小計	3,459,878	3,561,815	△101,937
利息及び配当金の受取額	0	27	△27
支払利息及び企業債取扱諸費の支払額	△1,045,237	△1,123,190	77,953
業務活動によるキャッシュ・フロー	2,414,641	2,438,652	△24,011
2 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△5,775,263	△6,857,380	1,082,117
有形固定資産の売却による支出	31	0	31
国庫補助均等による収入	1,797,592	2,631,670	△834,078
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,977,640	△4,225,710	248,070
3 財務活動によるキャッシュ・フロー			
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	801,000	1,299,000	△498,000
その他の企業債による収入	548,000	550,000	△2,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△3,016,111	△2,918,580	△97,531
その他の企業債の償還による支出	△438,033	△835,101	397,068
企業債前借による収入	3,811,700	1,950,000	1,861,700
他会計からの出資による収入	422,209	415,413	6,796
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,128,765	460,732	1,668,033
資金増加額(又は減少額)	565,766	△1,326,326	1,892,092
資金期首残高	57,450	1,383,776	△1,326,326
資金期末残高	623,216	57,450	565,766

キャッシュ・フロー計算書では、決算対象期間における現金及び預金の増減状況が、3つの活動区分におけるキャッシュフロー(CF)で表される。

業務活動による CF はプラスになっているが、これは、主に減価償却費の額が大きいことによる。投資活動による CF はマイナスになっている。これは、固定資産の取得に係る建設改良費の影響が大きい。財務活動による CF はプラスになっている。これは、企業債の償還のための支出より、企業債前借も含めた企業債収入が多いためであり、借入額自体も前年度から増加しているため、全体として大きく増えている。

これらにより、本年度の資金は前年度より約 5 億 6,577 万円増加している。